

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) S.F
所属 (School) 現代システム科学域 環境システム学類
学年 4年
留学先 仁川大学校 (大韓民国)
留学期間 (study abroad period)
2018/8~2019/7
記入日 (Date) 2020/2/20

交換留学とは … 本学に在学扱いのまま海外協定大学に留学できる制度です。留学中は本学に学費を納入し、留学先大学の授業料は免除されます。

留学レポート Study Abroad Report

私は大韓民国の仁川大学校に1年間、交換留学生として派遣されました。私が留学先に大韓民国（以下：韓国）を選んだ理由は2つあります。1つは、お隣の国である韓国の文化が日本とどのように違うのかを知りたかったため、もう1つは最近人気の韓国の俳優やアイドルが何を言っているのかを理解できるようになりたかったためです。留学以前にも韓国には何度か旅行で訪れており、その度にTVで連日報道されている日韓の確執は嘘なんじゃないかなんかと思うくらい韓国人は優しく、どんどん韓国という国に惹かれていったのがきっかけで今回の留学に至りました。

仁川大学校 東北アジア国際通商学部へ配属

留学先の学部は自動的に東北アジア国際通商学部へ配属されました。大阪府立大学から派遣された交換留学生は決まってこの学部へ配属されるようです。東北アジア国際通商学部にはアメリカ通商・中国通商・日本通商・ロシア通商・韓国通商（正規の外国人留学生のみ）の5つの課程があり、私はその中の日本通商に所属していました。この学部では、各国の経営学を学び将来的にそれぞれの国で活躍できるような人材の育成に力を入れています。そのため、東北アジア国際通商学部の学生は外国語の習得も必須で、2年生時には全学生が1年間の留学を義務付けられています。

このような特色からか、東北アジア国際通商学部は言語交換のプログラムや留学生のサポートが非常に充実しています。その中でも特に私が嬉しかったことを3つ紹介したいと思います。1つ目は、学部の行政室のサポートが手厚かったことです。留学開始以前からメールで直接、部屋の手配や留学生オリエンテーションの案内等をしてくださり、現地到着後も学校案内や受講申請の補助、寮の移動の通知等、こちらが言わずとも何から何まで助けてくださりました。時には、教授の車に乗って学校街に一緒にランチに行くこともしばしばありました。その際、現地の美味しいお店や学校のこと、教授の経験談等たくさんのことを教えてくださり、とても貴重な経験になりました。2つ目は、チュータリング制度です。チュータリング制度とは、特定の韓国人学生がチューターとなり、1学期間留学生生活全般をサポートしてもらえる制度です。私の場合、チューターは3人いて週に1回ずつローテーションで韓国語を教えてもらったり、一緒にご飯を食べに行ったりしていました。この他にも、韓国語の難しい手続きや口頭発表の原稿の添削等を私が急に頼んでもその都度親身になってアドバイスしてくれたり、留学中この制度にすごく助けられました。3つ目は、家庭教師制度です。この制度は、まだ留学前で日本語特訓中の1年生に、私たち日本人留学生と日本へ留学済みの韓国人学生がペアになって日本語を教えるという制度です。私は、各学期につき2名の1年生を担当し、これもだいたい週に1回のペースで行っていました。家庭教師では基本的に、1年生が授業で習ってわからなかったことを中心に教えていたのですが、私たち日本人が普段何気なく使い分けていた語句の違いを聞かれる事が多く、私自身も勉強になることが多かったです。

また、学期初めと学期末に学部全体での飲み会が開催されるのですが、出席率が非常に良く学部生全体が仲いいのも印象的でした。大抵は、ただの交換留学生は現地の学生と関わる機会が少ないと思うのですが、東北アジア国際通商学部は留学生と韓国人学生を繋げてくれる制度や機会が多いので、韓国の文化や言語をよりリアルに学ぶことができました。

大学内の寮



大学内の様子



学部の飲み会



仁川大学校付嘱の語学堂へ入学

大学が休みの期間は大学付属の語学堂へ通いました。休みの期間することないし、仁川大学校の留学生であれば学費が半額免除ということで入学を決意しました。語学堂は普段大学の授業を受けているメインキャンパスではなく、少し離れた別のキャンパスにあります。大学から無料のシャトルバスが出ているのですが、1時間に1本しか運行していないので交通に関しては少し不便でした。しかし、語学堂自体はすごく楽しかったです。基本的に朝の9時から昼の1時まで途中休憩を挟みながらの約4時間毎日授業があるので、自分でも分かるくらい韓国語が上達しました。授業も1クラス10人前後の少人数制だったので、わからないことがあればすぐに先生に質問できる環境でしたし、先生も生徒1人1人に対して常に真剣に向き合ってくださいました。

授業の他にも、1タームに1回全員で遠足に行くイベントもありました。私の時はソウルにあるロッテワールドという遊園地に行きました。そこでは、生徒達だけでなく先生方とも一緒になって楽しむことができたので、とても良い思い出になりました。

語学堂では、毎日同じメンバーと顔を合わせていたので、クラスメイトと仲良くなるのにそう時間はかかりませんでした。先生方も私たち留学生のことを勉強以外の面でもとても気にかけてくださっていたので、約2ヶ月という短い時間でしたが卒業がとても寂しかったです。言い換えると、そう思えるくらいとても濃くて充実した2ヶ月間でした。

語学堂の外観



遠足で行った
ロッテワールド

最後に

私はこの留学で、知識を得ただけではなく人間としても大きく成長できたと感じています。このレポートを読んでいるということは、あなたは海外留学に興味を持っているのだと思います。留学は気軽に行けるものではないけれど、少しでも興味があるならまずは調べてみてください。大阪府立大学には留学支援の制度が様々あり、私が行った仁川大学校以外にも提携先が数多くあります。調べた上でやっぱり行きたいなと思ったら後は行動あるのみです。留学準備は思った以上に大変で面倒臭い手続きが多いですが、頑張ってください！